

次世代活性化基金等に関する感想・コメント

真木太一 (九州大学名誉教授)

1. 学会への寄付についての取り扱いとその経過

私は、質素な生活の中から、こつこつと貯めた、私としては大金を、二十歳前に学会員になり、お世話になった学会にといい、8年前に寄付しました。なお、学会事務局の都合で寄付金が分割されたためか、感謝状は2018年と2019年にいただきました。

学会自体の資金でない寄付による「次世代活性化基金」がスタートしましたが、坪井基金の倍の百万円になるも、それには個人名真木の名称は付けていただけていません。

丁度同じ頃、私の関与するある学会では、寄付があり個人名の付いた基金として、活用されています。最初の使用が高校生の作文コンクールでした。

さて、私の寄付した基金(個人名の付かない「次世代活性化基金」)がスタートし、寄付金を活用した最初のサマースクールが開催されましたが、講演会や懇親会にも招待されることはありませんでした。一方、基金を使用して出版された英文書籍には謝辞が書かれていましたが、如何ほどの学会員の目にとまったのでしょうか。

2. 次世代活性化基金の経過・活動状況

数年を経て今回、次世代基金を使って、高校生参加イベントを行うに当たり、2025年の予算施行について臨時総会を開き了承されましたが、何か石橋を叩いて渡るような感じがしました。

一方、今回の高校生参加事業推進に際しても同様に、これまでに次世代活性化基金なるものは、如何なる背景・経緯でできたのか、個人名を含めて解説・記述がありません。次世代の関係者にとって必要だと思いました。本末転倒でしょうか。このままでは、研究者・寄付者の名が残らないのは残念です。

なお、大会時の高校生参加事業推進では、特に説明を受けた「不知火研究」の高校生発表は、不知火の観測とその考察が素晴らしく感心しました。

3. 寄付に対する一般的評価等々について

ところで、研究者個人による多額の寄付の割には、寄付者にメリットがないか、少ないと思われれます。ある学会のAさん曰わく「真木さん、それは冷遇されていますね」です。同感です。

前述の通り感謝状は2度いただきました。JICA(国際協力機構)からも長年の隊員選考の貢献で感謝状をいただきました。叙勲の時に評価されるかと思いましたが、感謝状は研究者には業績評価にはなりません。学会は学会賞(種々の名称の学会賞)です。

ある学会では、私は寄付をしていませんが、最初、名誉会員に推挙され、その後、特別名誉会員にいただき、学会賞的な2種の賞もいただきましたが、農業気象学会は若い頃の学会賞(A賞)と名誉会員のみです。

4. 感謝状受領時のコメント

私は感謝状をいただいた時、参加者の皆さんに、その返礼の言葉の最後に、学会の発展・活性化のため、私に倣って多額の寄付をお願いしますと言いました。しかし、私への処遇を見てか、優遇どころか冷遇と判断されたためか、学会活性化に関して、今のところ、多額の寄付をする人はいません。

学会としての「評価」は学会賞です。特別賞、貢献賞、論文・学術賞等々あります。ちなみに原著論文・関連論文は一番多いと思います。以上、感想・コメントを述べさせていただきました。

5. 日本農業気象学会における貢献

- 1) 『新編農業気象学用語解説集』を編集委員長として1997年6月5日に出版。
- 2) 国際会議「地球環境劣化下の食料生産と環境保全に関する国際シンポジウム」(International Symposium on Food Production and Environmental Conservation in the Face of Global Environmental Deterioration)を2004年9月7~11日に福岡国際会議場で組織委員会委員長として開催。
- 3) 国際農業工学会(CIGR)国際シンポジウム2011(CIGR International Symposium 2011 on Sustainable Bioproduction – Water, Energy, and Food), 持続的生物生産—水, エネルギー, 食料—を日本農業工学会(日本農業気象学会他), 日本学術会議, CIGR主催で2011年9月19~23日に東京で開催。
- 4) 風に関する書籍2冊(『図説 日本の風』, 『日本の局地風百科』)を最近、編者および単著として出版。

6. 主要な関連業績

- 1) 真木太一(編集代表), 1997:『新編農業気象学用語解説集』. 日本農業気象学会 新編農業気象学用語解説編集委員会, 東京, 313 pp.
- 2) 真木太一(委員長), 2005: 地球環境劣化下の食料生産と環境保全に関する国際シンポジウム, 生物と気象, 5(2): 47-51.
- 3) 真木太一(委員長), 2012: 「CIGR(国際農業工学会)国際シンポジウム2011 報告書」, 同組織委員会, 東京, 48 pp.
- 4) 真木太一(編), 2022: 『図説 日本の風 人々の暮らしと関わる50の風』. 朝倉書店, 東京, 175 pp.
- 5) 真木太一, 2025: 『日本の局地風百科』. 丸善出版, 東京, 401 pp.

<https://agrmet.jp/wp-content/uploads/2025-H-2.pdf>

2025年4月19日 受付

Copyright 2025, The Society of Agricultural Meteorology of Japan